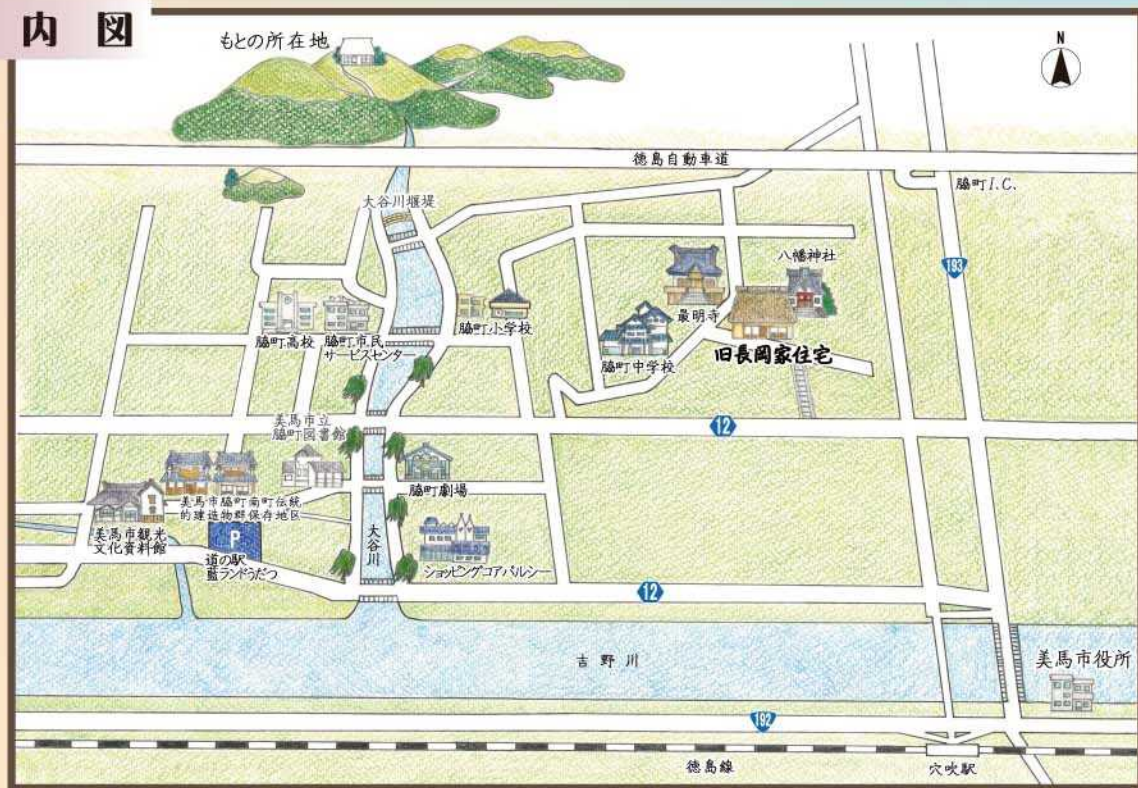


案内図



国指定重要文化財 旧長岡家住宅

- 場所：徳島県美馬市脇町大字猪尻字西上野34番地
(移築前) 徳島県美馬市脇町字西大谷
- 開館時間：午前9時～午後5時
- 休館日：毎週月曜日
年末年始
(12月28日～1月4日)
- 入館料：無料
- 交通アクセス：マイカーをご利用の場合
徳島自動車道脇町ICから約9分(約3km)
タクシーをご利用の場合
穴吹駅から約10分(約4km)
(所要時間は、道路状況等により異なります)

周辺の文化財

最明寺

重要文化財「木造毘沙門天立像」があり、毎年4月3日に公開される。別名「萩寺」。

脇町劇場(市指定有形文化財)

昭和9年建築、芝居小屋や映画館として賑わう。映画「虹をつかむ男」でオデオン座という名前で登場した。

美馬市脇町南町伝統的建造物群保存地区(国選定)

通称「うだつの町並み」、400m余りの通りに江戸中期～昭和初期の商家が立ち並んでいる。

大谷川堰堤(国登録有形文化財)

明治20年頃築造、オランダ人土木技術者ヨハニス・デ・レイケが設計した砂防ダム。



美馬市
美馬市教育委員会

お問い合わせ先

美馬市教育委員会

徳島県美馬市穴吹町穴吹字九反地5番地
E-mail bunsपो@city.mima.lg.jp

TEL (0883) 52-8011
FAX (0883) 53-8890

はじめに

旧長岡家住宅は、もとは美馬市脇町西大谷地区の山の中腹に建っていた農家であったが、昭和54年に現在地へ解体移築された。移築前は東向きだったものが、移築のときに西向きに建てられた。また、棟札が残されており、^{きょうほう}享保20(1735)年の建築であることが確認された。昭和51年5月20日に、国の重要文化財に指定された。

規模

桁行12m、梁間6.6m、^{すこや}直屋造り、^{かや}寄棟造り茅葺きで、大屋根を軒先まで葺き下ろしている。間取りは下手にドマ、上手にナカノマ・オモテと呼ばれる床張りの2室が、

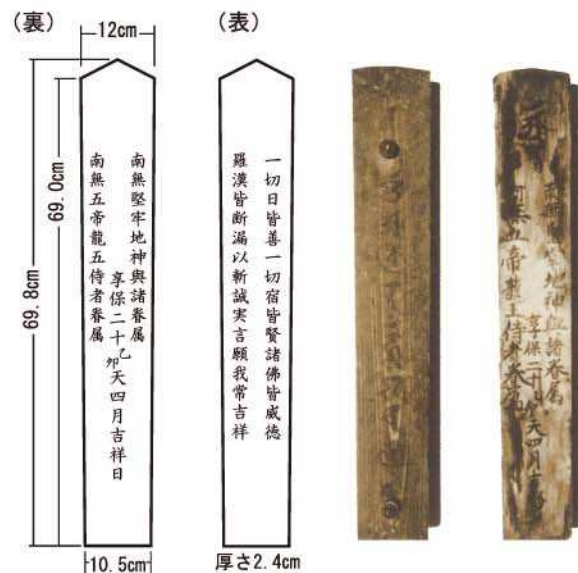
一列に並ぶ横二間取りである。正面のみ開口部で、他三辺の外壁は、すべて土壁となっている。このような外壁は、雨の少ない讃岐地方に多く見られ、もともと阿讃山脈の南麓に建てられていた旧長岡家住宅でも、その特徴を見ることができる。

構造

ドマ：農作業などの作業場であり、炊事場。一般的に屋内にあり、床板を張らず地面のまま、もしくは三和土などで仕上げた部屋。旧長岡家住宅では、松材でチョウナ仕上げの独立柱が立ち並んでいる。

ナカノマ：現代の居間に相当する部屋。床板は拭板張りで、中央より東側にイロリを切っている。土間境には建具がなく、開放されている。

オモテ：現代の客間に相当する部屋。ナカノマより入って正面奥には、床板より一段高くなっている場所がある。向かって左側が床で、右手側のさらに高く段を構えているところは、仏壇と神棚が祀られていた。天井は、竹を編んだ上に籬を敷き、その上に土をのせた構造で、大和天井と呼ばれている。この天井は防寒防火の役目をしている。この部屋もナカノマと同様、イロリを切っている。



棟札(杉材)

みどころ



ナカノマ

■ 畳は常時敷きつめてはならず、必要などきに出して使っていた。客間であるオモテも日常は畳を上げておくため、床板は厚く丈夫なもので、表面は^{かな}鮑で仕上げられている。



イロリ

■ イロリが2カ所ある。煮炊き、暖房、照明など必要不可欠な設備であり、日常生活はこの場所を中心に行われた。



大和天井



オモテ



長持ちと筆筒

■ 旧長岡家住宅には押し入れがない。収納場所として^{ながもち}長持ちや^{たんす}筆筒を使っていた。



天井裏

■ 1200束もの茅で葺いた大屋根を支えるために、自然木を無駄なく使った大きな梁がある。